

郷土が舞台の  
軍記歴史物語

# 太平記



「ところざわ倶楽部」連続文芸講座は、H25年「現在に生きる松尾芭蕉」、講師に川上義正先生、H26年「人間・正岡子規」を栗田博行先生に、H27年は「歌舞伎と文楽」近藤瑞男先生と文芸講座を開催、大好評でした。今回は川上義正(元高校教師)先生に再び登場いただき、「太平記」の講義をお願い致しました。郷土が舞台となっている古典「太平記」に触れてみませんか。多くの方のご参加をお待ちしております。

◇日程:6月~7月 全4回(毎回水曜日)

第1回:6月29日 第2回:7月6日  
第3回:7月13日 第4回:7月27日  
午後1時30分~午後3時30分(開場:1時00分)

・会場:所沢市生涯学習推進センター201室

・講師:川上義正(元高校教師)所沢在住

・募集人数: 80名 先着順

・受講費:倶楽部会員1000円 一般 1500円

・主催:ところざわ倶楽部

協力サークル:古典倶楽部葵の会

川上義正先生のプロフィール



・愛媛県八幡浜市出身・昭和10年生れ、

・国学院大学文学部国文科日本文学科卒業

・川越高校・朝霞高校・緑ヶ丘

「太平記」は全40巻の膨大な作品です。今回は鎌倉北条氏討幕まで、10巻ぐらいまでを中心に講義致します。

高校・豊岡高校等で教鞭をとる。現在は山口公民館・吾妻公民館等で古典講座を開き人気を集めています。



小手指が原の古戦場



太田市歴史公園 新田義貞銅像

◆講義内容◆

戦乱の南北朝時代を描いて、「太平記」は「平家物語」と並び称される中世最大の古典です。入間川、小手指が原、久米川、分倍河原など、北条氏の鎌倉幕府討伐に向けて郷土の坂東武者も立ち上がり、新田義貞のもと、武蔵野、多摩川、鎌倉等で壮絶な戦いが繰り広げられました。今回は後醍醐天皇の即位から鎌倉幕府の滅亡を描いた第一部を、新田義貞の活躍を中心にした講義となります。

「太平記」は「平家物語」が仏教的な無常観を描いた世界観に対し、因果応報の理念なき殺伐とした戦いの世界を描き、後世の日本の歴史に大きな影響を与えました。鎌倉街道を駆け巡る坂東武者たちの活躍を古典で学んでみませんか。

【申し込み方法】

◇募集: 倶楽部会員 10日以降~31日迄 各サークルでの応募 受付  
一般 5月末~6月10日頃 往復ハガキにて応募 受付

◇受講決定 ハガキにて返信 倶楽部会員も含めて

◇【宛先】〒359-0035 所沢市西新井町 3-18 二上拓夫

◇問い合わせ 電話 04-2998-1958 二上 04-2940-0711(池田 葵の会)



皇居前銅像  
楠木正成

